

総務文教常任委員会

委員長 忠之
副委員長 山田長
委員 崎橋部三郎
高岡滝谷幸富
松岡本富信
森新

平成23年度一般会計予算（総務費）
について

（所管課・学校教育課）

問 『暑さ対策』涼しさ体感アート事業は、どのような事業を考えているのか。

答 駅の階段や、市役所通りと高崎線との立体交差部分等に掲示をしたいと考えている。目で見ても涼しさを感じられるような作品を市民公募するほか、市内の専門学校等に委託して、大きな作品も展示していきたいと考えている。（所管課・企画課）

問 地域教育相談員設置事業と、ほほえみ相談員設置事業の違いを教えてください。

答 地域教育相談員設置事業は、相談員を市内全中学校に、2、3名ずつ配置し、校区内を巡回し、非行問題や犯罪行為等を未然に防止するための事業である。また、ほほえみ相談員設置事業は、各中学校の相談室にほほえみ相談員を1名ずつ配置する事業で、生徒や保護者からの相談や、いじめ、不登校等の学校での問題に対し、支援を行ったり、相談された内容等を学校側に伝えたりする事業である。

平成22年度一般会計補正予算（教育費）
について

（所管課・学校教育課）

問 小学校エアコン整備事業は、24年度稼働ということだが、夏季休業中に工事をするのであれば、23年冬の暖房としても使えるのではないか。

答 現在のスケジュールでは、導入方式等について、比較検討しながら設計を進めるので、時間がかかるため、夏季休業中の工事は困難な状況である。秋ごろから、大きな音のするような工事などは、休業日を利用するなど、授業に迷惑をかけないようなかたちで、年度内に完了させる予定である。したがって稼働は平成24年度からとなる。（所管課・教育総務課）



小学校の授業の様子

福祉環境常任委員会

委員長 三夫
副委員長 黒澤長邦
委員 吉原保昭
大久井清次
新林真二
泉浦和
三浦松一
須永宣

熊谷市立児童クラブ条例の一部を
改正する条例

問 新設される秦児童クラブは、何人の定員になるのか。また、この施設が設置された場合、全小学校区に1つ、児童クラブができることになるか、伺いたい。

答 秦児童クラブの定員は、秦小学校の学校規模、余裕教室の面積等を勘案し、30人とした。また、全小学校区への児童クラブの配備が整うかどうかについては、児童クラブがない小学校区が、男沼小学校区及び星宮小学校区の2カ所ある。現在、男沼小学校については、妻沼南児童クラブへの送迎をしている。星宮小学校については、児童クラブの要望等が、確認されていないため、児童クラブを設置していない。（所管課・保育課）

平成23年度一般会計予算（衛生費）
について

問 ムサシトミヨ生息区域保全集中転換促進事業地域について、なかなか合併処理浄化槽への転換が進んでいないという実態があるが、今年度までの転換の個数と来年度の予算について、伺いたい。

答 市が行ってきた事業は、平成20年度から実施し、平成20年度が25基、21年度も25基、今年度は、現在32基ということ、合計で82基の転換の実績となっている。今回、県の上乗せの補助により、個人負担が5人槽の浄化槽の例として、約16万6千円程度で、合併浄化槽の設置が可能ということになる。県の予算としては40基の予算を確保しているということである。申請者が増えた場合には、市と県で協議して対応していくことになる。（所管課・環境衛生課）

問 低公害軽自動車の購入の関係で、債務負担行為をしているが、どのような事業か、伺いたい。

答 低公害軽自動車の購入に対する補助金ということで、平成24年度に1回目の課税対象となる低公害の軽自動車に対し、その納税額相当を補助金として支払う事業である。今年度、周知期間を置く必要があることから債務負担を設定した。（所管課・環境政策課）

市民産業常任委員会

委員長 茂実 勝
副委員長 杉田 健 昇
委員 常任委員 原 秀 千 雄
栗原 加 賀 崎 秋 宏
笠原 新 井 岡 兵 衛
加藤 松 岡 兵 衛
新井 松 岡 兵 衛
桜井 松 岡 兵 衛

平成23年度一般会計予算（商工費）
について

問 プレミアム付き商品券発行事業について、長引く不況の中、よい政策であると考えるが、商品券の販売方法等について、どのように考えているのか。

答 今回の実施事業主体は、商工会議所、商工会、及び商店街連合会等で組織される実行委員会で実施していく予定である。今後、商品券の販売方法や商工会議所、商工会等に入っていないお店の加盟についても検討していきたいと考えている。

（所管課・商業観光課）



平成21年度に発行された熊谷市プレミアム付き商品券

平成23年度一般会計予算（衛生費）
について

問 小児救急医療医師派遣支援事業は新規事業とのことだが、小児救急医療支援事業に対する輪番体制の補強と考えてよいのか。

答 現在、熊谷生協病院、行田総合病院及び深谷赤十字病院が小児救急医療支援事業に参加しており、また、熊谷総合病院も小児救急医療の協力病院になっている。この小児救急医療医師派遣支援事業では、夜間の医師が不在となっている曜日のうち、月曜日の夜間について、来年度から当直医が、深谷赤十字病院へ派遣される。

（所管課・健康づくり課）



小児救急医療支援事業の参加病院

都市建設常任委員会

委員長 和浩
副委員長 山美 智子
委員 並木 正 一
小林 甚 一
新井 正 夫
加藤 恒 夫
田島 道 夫
松本 貢 市 郎

平成23年度一般会計予算（土木費）
について

問 都市公園安全・安心対策事業、熊谷さくら運動公園庭球場人工芝生化新設事業、市民協働「熊谷の力」熊谷式運動場等芝生化事業の内容について、伺いたい。

答 都市公園安全・安心対策事業は、国の社会資本整備総合交付金を活用し、古くなった都市公園の施設のバリアフリー化、古くなった遊具の改築等を実施する事業であり、平成23年度については7カ所の公園の整備を予定している。また、熊谷さくら運動公園庭球場人工芝生化新設事業は、庭球場Bコート6面を人工芝化するという内容で、雨がやめばすぐに使用することができることから、利用効率の向上、大きな大会の運営の円滑化などが期待できるものである。また、市民協働「熊谷の力」熊谷式運動場等芝生化事業は、熊谷さくら運動公園多目的広場の南側、サッカーコート1面分、約7,200平方メートルをティフトン芝を使ったポット苗を使い、主にサッカーの団体の

方にご協力いただき、植え込みから維持管理まで利用者団体を中心として行っていく事業である。

（所管課・公園緑地課）

平成23年度水道事業会計予算について

問 漏水調査委託料が組まれているが、調査方法はどのようなものか。また、漏水箇所について市民に対しての声をしているのか、伺いたい。

答 漏水調査については、夜間、道路上で機械を使つての音聴調査をし、漏水の疑いがあった場合には、昼間、ボーリング調査を行つて確認をしている。また、市民への呼びかけについては、市のホームページや水道だよりを通して、漏水箇所があった場合は、水道部へ連絡していただくようお願いしている。（所管課・工務課）



熊谷さくら運動公園多目的広場